

設備機器の導入で生産プロセスを改善し、 総合力強化で顧客ニーズに対応



印刷用アルミ版出力装置は自動供給装置付き

足利印刷株式会社

企業情報

〒326-0338 栃木県足利市福居町282-1 TEL:0284-71-2188 FAX:0284-72-6133
URL: <http://www.watv.ne.jp/~ashiin/>

代表取締役／森田 公博 設 立 年／1952年（創業1945年）
資本金額／2,400万円 従業員数／45名

事業内容

- 鉄道・バス事業諸用品、各種会社案内、カタログ、ポスター、チラシ、
帳票類等のデザイン・印刷・製本



足利印刷株式会社

実 施 事 業

最新設備導入による生産プロセス改善で
競争力強化と企業組織を改革する戦略的展開事業

市場規模が縮小する中、顧客ニーズが多様化

1945年、鉄道乗車券（硬券）の印刷工場として創業後、乗車券や金券などをはじめ、パンフレットやチラシなどの商業印刷物、書籍や冊子などの出版物、各種ノベルティグッズなどお客さまのニーズに応じた商品を総合的に手がけてきました。近年、われわれ印刷業界を取り巻く状況は、IT化、消費者ニーズの多様化、企業のコスト削減、人口減少などにより年々厳しくなっております。パソコンを使って誰もが手軽にデザインや印刷ができる時代となり、情報発信や情報収集手段もインターネットに移行しつつあります。

こうした中、顧客ニーズは「高品質・多品種・小ロット・短納期・低価格」へと変化しています。創業以来当社は、地域密着型の企業として「マンパワーによる人的競争力の優位」を強みとしてきましたが、これらの流れに順応していくためにはマンパワーだけでは限界があり、現状の設備でこれらの課題を解決することは不可能でした。



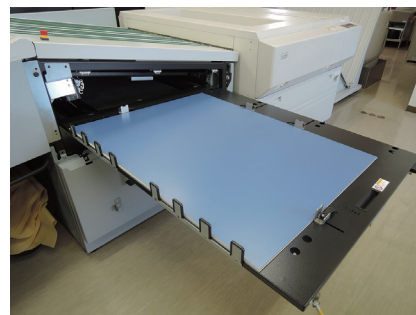
ノベルティグッズの数々

高速かつ自動化できるアルミ版出力装置を導入

課題解決のために、ハイデルベルグ社(ドイツ)で当時最新の高性能印刷用アルミ版出力装置「スープラセッター106デュアルカセットローダー」を導入しました。これは印刷に必要なアルミ製の「版」をつくる装置で、印刷の中間工程に欠かせない機械です。

装置の高速化・自動化の機能を最大限に利用し、短時間で多くの出力が可能になりました。具体的には、出力スピードが従来の「19版／時」から「33版／時」にアップし、生産性が74%向上し、年間総出力時間に換算すると約43%の生産時間短縮につながりました。

また、新装置は版の自動供給装置(カセット式)が付いているため無人での自動出力が可能です。従来はすべての版を人の手で1枚ずつ挿入しなければなりませんが、2種類の版を全自動で挿入できるカセットの効果により版の挿入作業時間は約76%削減されました。



自動供給装置(カセット式)にアルミ版を置いた状態

顧客ニーズへの対応と作業体制の再構築が可能に

新装置の導入により生産時間短縮と人の手による版挿入作業時間が削減されたことで、多品種・小ロット・短納期への対応が可能になりました。また、生産コストの削減と作業内容の見直しによる作業体制の再構築も可能となりました。その結果、マンパワーが必要な前工程であるデザイン作業に多くの時間を費やすことができ、顧客のデザイン上の要望にも柔軟に対応できるようになったことは大きな収穫です。

今回の設備投資により顧客満足度を高める生産プロセスが構築され、新装置の導入による競争力アップだけでなく、当社の強みでもある人的競争力も向上するという二重の競争力強化が図れました。今後も当社の強みを活かしながら、総合的な競争力を強化し、売上拡大と強い企業体制の構築を図っていきます。



乗車券や金券以外にもパンフレットやチラシなどさまざまな印刷物を扱う

Comment

代表取締役 森田 公博

将来を見据え、総合的な競争力強化を図る

設備投資による生産プロセスの構築は競争力の強化につながり、結果として売上拡大にも寄与しました。これをきっかけに今後の発展を見据え、新たな人材の確保(雇用拡大)、専門知識の習得と技術の継承(人材教育)を同時に進めていきたいと考えています。

さらに、今後求められる課題を解決するため、新規設備への投資や新事業の展開も併せて検討しつつ、収益性を高めながら経営基盤の安定を図り、その効果を従業員や地域に還元できる「地域のリーディングカンパニー」を目指します。

